情報工学実験Ⅱ

第6章 スクリプト言語を用いたテキストファイル処理に関する実験

担当:岩田

■本実験の目的

- >スクリプト言語を使ったプログラミングを学ぶ
 - □ Python(パイソン)を使う

- > できるようになること
 - □データ整理
 - □データ加工
 - □テキストファイル処理



なぜPythonなのか?

- >スクリプト言語(インタプリタ)ならほかにも いっぱいあるじゃないか!そっちを使わせろ!
 - □ バッチファイル/シェルスクリプト
 - Perl
 - Ruby
 - PHP
 - Lua
 - AWK/sed/grep
 - VBS





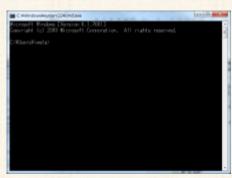




Ruby









■ なぜPythonなのか?

- ▶読みやすくて書きやすい!
 - □制御構造をインデントで表現する(ちゃんとやろう)

```
public static int factorial(int x)
{
    if (x == 0) {
        return 1;
        p 計弧でブロックを表現
    } else {
        return x * factorial(x - 1);
    }
}
```

■ なぜPythonなのか?

- ▶機械学習のデファクトスタンダード
 - □参考
 - ✓ Python以外でもできる。言語別ディープラーニング用フレームワークまとめ
 - https://blog.tkrel.com/12579
 - JavaScript, Swift, Ruby, Perl, Java, PHPなど
- >さまざまな利用例 参考:

https://www.python.org/about/quotes/

- Google
- YouTube.com

■ スクリプト言語の使いどころ (1/2)

- ▶書き捨てのコード
 - □ たとえば!
 - ✓「情報の学生の就職先ってどこが一番多いの?」を解決

情報工学科 卒業生就職先一覧

(第 1 期生 ~ 平成 27 年 3 月末 現在) https://www.info.nara-k.ac.jp/carrier/corporation.html

2 台本電気株式 1 合計1

面倒すぎる!

5







時間







よしたに著"理系の人々"

http://blogs.yahoo.co.jp/engineer_ryuseigun/11418770.html

- ▶単純作業のデメリット
 - □面倒
 - ✓ インテリジェンスを感じない
 - ✓ PCができる仕事は任せる
 - ✓ もう一回この作業しなきゃならないとか耐えれない
 - □漏れ落ちる
 - ✓ 人間は必ずミスる
 - ✓ ちゃんと書けば機械は ミスらない

■ スクリプト言語の使いどころ (2/2)

- ▶実験の自動化
 - □そこそこ時間がかかる実験を連続してやる必要がある

✓ 処理A: 3h

✓ 処理B: 4h

✓ 処理C: 1h

※複数ファイルの動画のエンコードとか

RAW画像の現像とか

- □ 待ってられるか!
 - ✓ 処理Aが終わったら処理Bを始めて、終わったら処理Cを始めるプログラムを書けば、寝てる間(8h)に実験が終わる!
- バッチファイルなんて言ったりする

さっそく使ってみよう(自分のPCの場合)

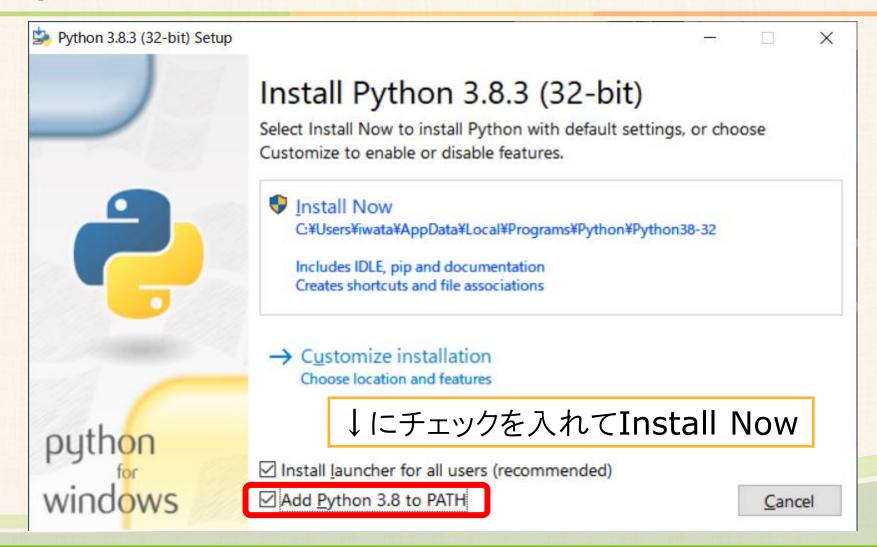
▶まずはPythonをインストール



▲ この種類のファイルはコンピュータに損害を与える可能性があります。python-3.8.3.exe のダウンロードを続けますか?

破棄

Pythonのインストール(自分のPCの場合)



インストールが終わったらCloseを押す (PATH LimitはどちらでもOK)

Pythonを実行してみよう



- 1. 「ドキュメント」フォルダに Pythonフォルダを作る (別のフォルダでもOK)
- 2. Teamsのファイルタブから sample.pyをコピーしてくる
- 3. Pythonフォルダで、Shiftキーを押しながら右クリックすると、「PowerShellウィンドウをここで開く」が出てくる

Hello World

> python sample.py をターミナルで実行する

※途中まで打ってTabキーで補間できるので便利に使いましょう 上キーを押したら前のコマンドが出てくるので、再実行時に便利です

PS C:¥Users¥iwata¥Documents¥svn¥2020¥exp2¥python-sample> dir

ディレクトリ: C:¥Users¥iwata¥Documents¥svn¥2020¥exp2¥python-sample

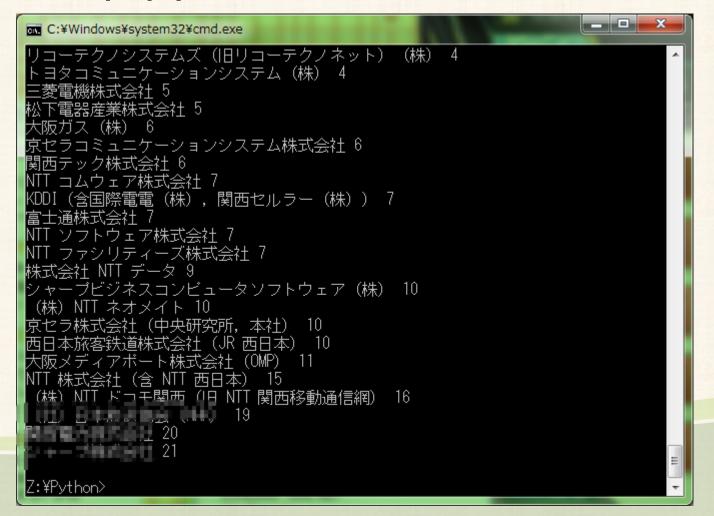
Mode 	LastWriteTime		Length	Name
-a -a -a -a -a -a	2019/02/08 2019/02/08 2019/02/08 2019/02/08 2019/12/19 2019/02/08 2019/02/08	18:56 18:56 18:56 18:56 23:04 18:56 18:56	278222 384 389 3682008 103	corp.py corporation.html k031.py mp42carnavi v2.bat overlap.dat sample.py title_list.csv

PS C:¥Users¥iwata¥Documents¥svn¥2020¥exp2¥python-sample> python .¥sample.py lo World

PS_C:\Users\iwata\Documents\syn\2020\exp2\python-sample>

一番多い就職先はどこですか?

>corp.pyを実行して確かめてみてください



■ チェックポイントについて(40点分)

- ▶内容を理解しているか教員が確認する
 - □ 作成したソースコードと実行結果,アルゴリズムなどについて説明してください
 - ✓ 確認結果は学生の皆さんも<u>こちらのサイト</u>で確認してください

実験課題(プログラミング)

- > P.80から順に
 - □ 6.11.1~6.11.6まで実施して, レポートで報告
 - ✓ 指導書をよく読んで、必要な実験結果について記述すること

チェックポイント

- > 6.11.1【スクリプトプログラミングの学習】
 - Pythonスクリプトの実行方法が分かっているか?
- ▶ 6.11.4 【基本構文とファイル操作の習得】の2.
 - □ 最低気温、最高気温、平均気温が正しいか?
- 6.11.5 【基本構文とコマンドライン引数の習得】の2.
 - 行などを追加しても動くかどうか?
- ▶ 6.11.6【総合課題】の2.
 - Excelで指定のグラフが出力できているか?

■ レポートについて(50点分)

- ▶レポート内容(Teams課題提出, PDF形式)
 - □締め切り: 2/13(月)9:00
 - ✓ 実験日:12/23, 1/6, 13, 27
 - ◆※提出〆切までで10点
 - □ファイル名
 - ✓出席番号2桁_名前_exp6.pdf
 - ◆例: 00_岩田大志_exp6.pdf

- 表紙
- アブストラクト
- 実験目的(原理は不要)
- 実験結果
 - プログラムのアイデアや 考えを説明する
 - 作成したプログラム (画像は禁止!コピペできるようにすること)
 - 結果(仕様と実結果を比較すること うまく動いただけではダメ)
- 参考文献 必ず記述すること
- 感想

■レポート書くときの注意点

- ▶ソースコードは適切に貼り付けてください!
 - Wordだと行間が大きくなりがちなので、 12ptに固定するなど、適切に設定してください
 - ✓ オススメフォントは Courier New です
 - ✓ ただ、TeX (jlistings.sty) の方が便利ですよ!!
 - □ Pythonのインデントは超重要なので分かるように!!
 - ✓できれば行番号もつけてください
 - □間違ってもソースコードを画像として貼りつけないように
 - ✓コピペできないと検証実験できないです